

知床周辺海域の調査実施状況

構成要素	調査対象	番号	調査項目	内容	対象地域(漁協)	頻度	備考	調査年	調査主体
海洋環境と低次生産	水温・水質	1	ブイ設置による定点観測	海洋観測ブイを2基設置し、水温、水質(塩分濃度・クロロフィル)を観測	羅臼・ウトロ	通年	4月～	H19～	環境省・漁協
		2	衛星画像による海洋環境の変動の把握	リモートセンシングにより水温・流水分布・クロロフィルaを把握	知床半島を含む半径300km以上の海洋	通年		H18	環境省(北大)
		3	海洋観測調査	産卵量調査時に水温・塩分を層別に観測	羅臼	年3-4回(2-4月)	H1年以降	H13～	羅臼漁協
		4	海洋観測調査(・資源評価調査[国受託])	サンマ漁期前調査の際に水温、塩分、透明度などを調査	オホーツク海	8月下旬～9月上旬		S52～	水産庁(北水研)
		5	深層水温・塩分調査	汲み上げ深層水の水温・塩分を観測	羅臼	毎時	羅臼町	H13～	羅臼町
		6	海洋観測調査	水温・塩分・栄養塩・プランクトン・クロロフィル	オホーツク海	年3～4回		H12～	水産庁(北水研)
		7	海洋汚染調査	石油、カドミウム、水銀、DO	オホーツク海	年1回	オホーツク海側はH9から	H9～	海上保安庁
		8	海洋環境及び生態系構成種の生態的特性把握調査	水塊構造・プランクトン・ネクトンの採取と行動観察	斜里・羅臼沿岸域	年1回夏期	北大練習船うしお丸にて実施。生物の行動観察には、音響手法および水中ロボットカメラを使用	H18～	北大
		9	オホーツク海南西方海流観測	海流・水温	オホーツク海	年1回		S58～	第1管区海上保安本籍
	流水	10	流水データ	海水観測データ			斜里・羅臼	月別	海上保安庁
	動物相	11	魚類相調査	標本調査	斜里・羅臼	随時	H6～H16調査	H13～	斜里町
		12	水中ロボットを用いた生物群集のモニタリング	水中ロボットを用いてプランクトン・魚類を観察	知床半島沿岸	秋・冬	科研費(一部環境省負担)	H17～	環境省(北大)
	動物・植物相	13	知床沿岸の浅海域生物相調査	魚類・ベントス・海藻・海草	ウトロ・羅臼・岬周辺	夏と秋の2回	ウトロ3カ所・羅臼3カ所・岬1カ所	H18～	環境省
		14	岩礁潮間帯における無脊椎動物の多様性	方形枠設置による枠内の無脊椎動物の種別個体数を調査	斜里・羅臼	年3回		H18/19	環境省
		15	浅海藻場調査	知床半島のコンブ場の現状と特徴の基礎情報を得るため、ベルトランセクト内の海藻・海草類を採取	羅臼(ベキンの鼻付近)	7月		H18	環境省
魚介類	サケ科魚類	16	遡上状況調査	河川別遡上状況、産卵床	遺産地域内河川	7月～	シロザケ、カラフトマス、サクラマス、(オンヨロコマ)	H15～	北海道、環境省(H15)
		17	サケ科魚類による栄養塩輸送に関する調査	・サケの遡上実態及びヒグマによるサケの利用実態の把握 ・サケ・ヒグマ・ヤナギ等のサンプルを採取し、炭素・窒素安定同位体分析を行う	岩尾別川・ルシヤ川・テツパンベツ川	遡上時期		H18～	環境省(北大)
		18	沿岸海域におけるカラフトマス及びシロザケの行動生態調査	知床岬沖にて魚体に音響発信機を装着し、事前に半島両側数ヶ所に設置した受信機によって得られた情報をもとに個体別の行動を把握	斜里・羅臼	遡上時期	科研費	H18～	北大
	スケトウダラ	19	産卵量調査	プランクトンネットにより産出卵量を調査	羅臼漁協	年2回(4-5月) (流水のため4月以降のみ)	根室海峡8地点	H13～	水産庁(北水研)
		20	卵・仔魚分布調査	リングネット(80cm)及び海洋観測	(根室海峡～道南太平洋)	5月	40地点	H13～	水産庁(北水研)
		21	オホーツク海重要底魚類生態調査	トロール、NORPAC、魚探	(オホーツク海)	5月	40地点	H13～	水産庁(北水研)
		22	繁殖行動等調査	水中ロボットカメラ	羅臼陸棚	3月	科研費	H17～	環境省(北大)
漁獲量	23	漁獲量調査	漁獲統計	斜里町 羅臼町	毎年	北海道水産現勢	H3～	北海道	

知床周辺海域の調査実施状況

構成要素	調査対象	番号	調査項目	内容	対象地域(漁協)	頻度	備考	調査年	調査主体	
海棲哺乳類	トド	24	トド来遊及び被害実態調査	道内におけるトドによる被害状況を把握するため、漁業者の目視状況や被害状況を把握。	全道	毎年	全道の状況を把握する調査であり、漁協個別のデータの公表はしていない。	H1～	北海道	
		25	補食影響調査	捕獲個体の性別、年齢、体長、体重、成熟、胃・腸内容物などを調査	羅臼	12-3月(捕獲がある場合は6月末まで)		H16～	水産庁(北水研)	
	アザラン	26	生息調査	生息状況及び漁業被害調査	羅臼	冬期		H15～	環境省(H15)、北海道(H15～)	
海鳥・海ワシ類	海鳥類	27	ケイマフリ営巣調査	生息地・営巣地調査	斜里	夏季	知床海鳥研究会(福田氏)のモニタリングの一部	H16～	環境省	
		28	海鳥繁殖状況調査	半島海岸線における海鳥繁殖状況の長期的なモニタリング	斜里・羅臼	6月		H15～	海鳥類長期モニタリング調査グループ(知床財団、知床博物館、羅臼町ほか)	
	海ワシ類	29	オオワシ・オジロワシ保護増殖事業	越冬数・餌資源調査	道東他			H18～	環境省(オオワシ・オジロワシ検討会の議論を踏まえ検討)	
		30	営巣環境調査	営巣環境調査と繁殖状況	斜里・羅臼	通年		H18～	斜里町他	
		31	営巣調査	オジロワシの繁殖状況に関する長期的なモニタリング調査	斜里・羅臼	通年		H15～	オジロワシモニタリング調査グループ(知床財団、知床博物館、羅臼町ほか)	
		32	渡り状況調査	渡り状況調査	斜里	10-11月		H18～	斜里町他	
		33	越冬個体数調査		斜里・羅臼	1-2月		S55～	合同調査グループ(知床博物館・羅臼教委他)	
	34	渡来数調査	個体数目視センサス	羅臼	12-4月	羅臼ビジターセンタースタッフにより実施	H9～	羅臼町		
海レク	利用の適正化	35	観光船調査	観光船の運航ルートの確認	斜里			H16～	環境省	
データベース化	既存の漁業データ・調査データや新たな調査データを整理する。(・漁獲量(水試)・環境要因データ(水温等)・魚類調査結果(知床博物館)・海藻・海草調査結果(羅臼漁協))								H18～	環境省